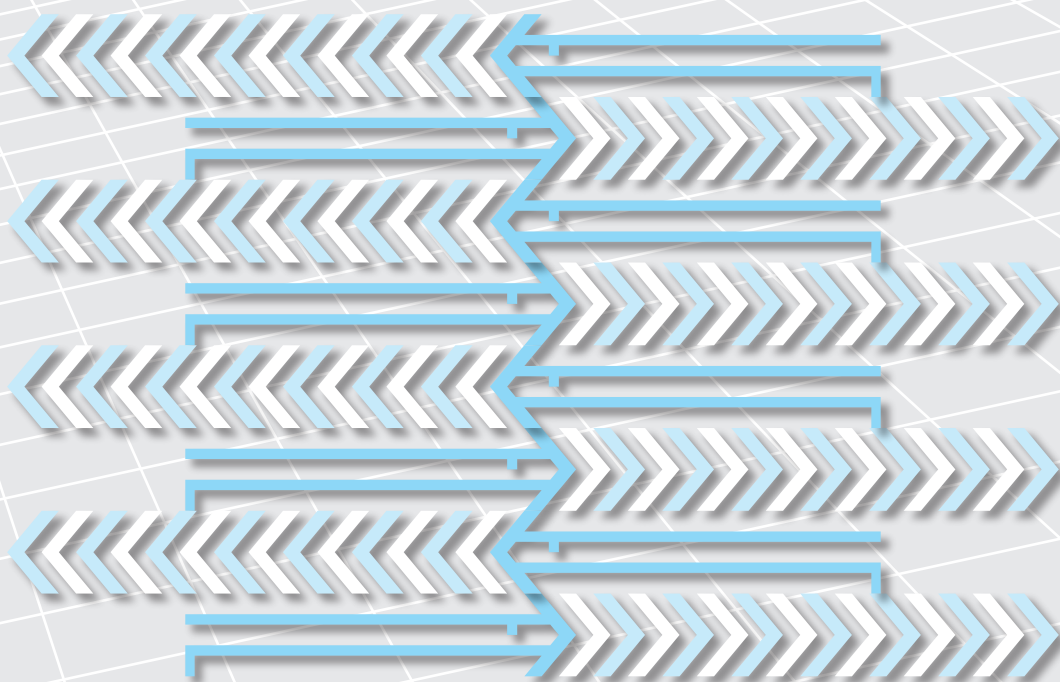


発展的な学習を推進するための指導資料

中学校編

外国語（英語）



平成24年3月
東京都教育委員会

はじめに

東京都教育庁指導部長 坂本和良

東京都教育委員会は、児童・生徒の確かな学力の定着と伸長を図ることを目的に、中学校では平成15年度から、小学校では平成16年度から「児童・生徒の学力向上を図るための調査」を実施しています。これまでの調査結果から、東京都の児童・生徒の学力の定着状況は、習熟の程度の遅いグループの層から習熟の程度の早いグループの層にかけて、幅広く分布しているという傾向が見られ、そのことから、児童・生徒一人一人の習熟の程度に応じた指導の充実を図ることが必要となっています。

東京都教育委員会では、児童・生徒一人一人の学習のつまずきを防ぐために、平成20年10月に国語科及び算数・数学科において、学習の素地として確実に身に付けさせる必要がある資質・能力とその段階的な指導を明らかにした「児童・生徒の学習のつまずきを防ぐ指導基準（東京ミニマム）」を作成し、説明会を実施してきました。

さらに、習熟の程度の早い児童・生徒に対する指導の充実を図るためには、教科用図書だけではなく、教材開発による応用・発展的な内容を提示したり、課題選択や課題学習を設定したりするなどの学習を広げ、深め、進める指導の工夫が求められます。

そこで、東京都教育委員会では、平成22年度に「発展的な学習を推進するための教材・指導法の開発委員会（小学校部会）」を設置し、学習指導要領の内容を十分に身に付けている児童に対して、学習指導要領の内容を一層広げ、深め、進める学習を行うための教材・指導方法の開発を行い、その成果として、「発展的な学習を推進するための指導資料 小学校編」を刊行しました。そして、本年度は、「発展的な学習を推進するための教材・指導法の開発委員会（中学校部会）」を設置し、本指導資料「発展的な学習を推進するための指導資料 中学校編」を刊行しました。

各学校におかれましては、これまでの取組に加えて、本指導資料を活用し、生徒の習熟の程度に応じた指導をより一層充実させていただくことをお願いいたします。

最後になりましたが、本指導資料の作成に当たり、御尽力いただいた皆様に、改めて深く感謝申し上げます。

目 次

◇ はじめに	
◇ 目 次	
I 「発展的な学習を推進するための指導資料」〈中学校編〉における基本的な考え方	
1 習熟の程度に応じた学習指導	4
2 発展的な学習の定義と育成したい資質・能力	4
3 「発展的な学習」の学習指導要領における位置付け・留意点について	5
4 発展的な学習における評価の基本的な考え方	6
5 本指導資料の活用について	7
II 外国語科（英語）における発展的な学習の事例	
○ 外国語科（英語）における発展的な学習についての基本的な考え方	8
○ 外国語科（英語）において開発した発展的な学習を推進するための指導資料	8
1 ゲストの希望を取り入れて、パーティーの計画を立てよう	12
2 色鉛筆の持ち主を当てよう	18
3 自分の意見をまとめて話し、友達の意見を聞いてみよう	24
4 博物館へ行こう	32
5 外国の人に紹介するレシピを作ろう	38
ミニ事例集	46
◇ 発展的な学習を推進するための教材・指導法の開発委員会（中学校）委員名簿	

I 「発展的な学習を推進するための指導資料」〈中学校編〉における基本的な考え方

1 習熟の程度に応じた学習指導

「児童・生徒の学力向上を図るための調査」（東京都実施）の分析結果から、学力の定着状況が習熟の遅い層から習熟の早い層にかけて、広く分散している傾向を捉えることができ、より一層、基礎的・基本的な内容の確実な習得及び習得した知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の能力を育むとともに、主体的に学習に取り組む態度を養っていく必要があることが明らかとなった。これらの資質・能力の育成には、個に応じた指導の充実が必要であり、中でも児童・生徒一人一人の習熟の程度に応じた指導の充実が大切である。

まず、習熟の程度の遅いグループへの対応として、児童・生徒の日常の学校生活の実態を十分把握して、到達度目標を明確にするとともに、児童・生徒の興味・関心を喚起し、目標の達成に向けた段階的・系統的な指導が求められる。

東京都教育委員会では、「児童・生徒の学力向上を図るための調査」の分析結果から、東京都の児童・生徒が学習指導要領の国語科及び算数科・数学科の目標を達成し、内容を習得するに当たって、「学習の素地として確実に身に付けておく必要がある資質・能力」とその段階的な指導を明らかにした「児童・生徒の学習のつまずきを防ぐ指導基準（東京ミニマム）」を平成20年10月に作成・公表した。さらに、平成21年度には、新しい学習指導要領（平成20年3月告示）の内容及び平成20年度の「児童・生徒の学力向上を図るための調査」の結果、平成21年度の国の「全国学力・学習状況調査」の結果を踏まえ、指導事例に加えて「東京ミニマム」の改訂を行い、説明会を開催した。

次に、習熟の程度の早いグループへの対応として、教科用図書だけではなく、教材開発による応用・発展的な内容を提示したり、課題選択や課題学習を設定したりするなどの指導の工夫が求められる。

東京都教育委員会では、習熟の程度の早い児童・生徒への指導の支援として、平成22年度に「発展的な学習を推進するための教材・指導法委員会（小学校）」を設置し、発展的な学習を推進するための教材・指導方法の開発を行い、その成果として、「発展的な学習を推進するための指導資料 小学校編」を刊行した。

平成23年度においては、「発展的な学習を推進するための教材・指導法委員会（中学校）」を設置し、発展的な学習を推進するための教材・指導方法の開発を行い、本指導資料を刊行したところである。

2 発展的な学習の定義と育成したい資質・能力

学習指導要領に示す内容を十分に身に付けている児童・生徒に対しては、個に応じた指導の充実を図る観点から、児童・生徒の能力・適性、興味・関心等に応じて、さらに学習を広げたり、深めたり、進めたりすることが求められる。

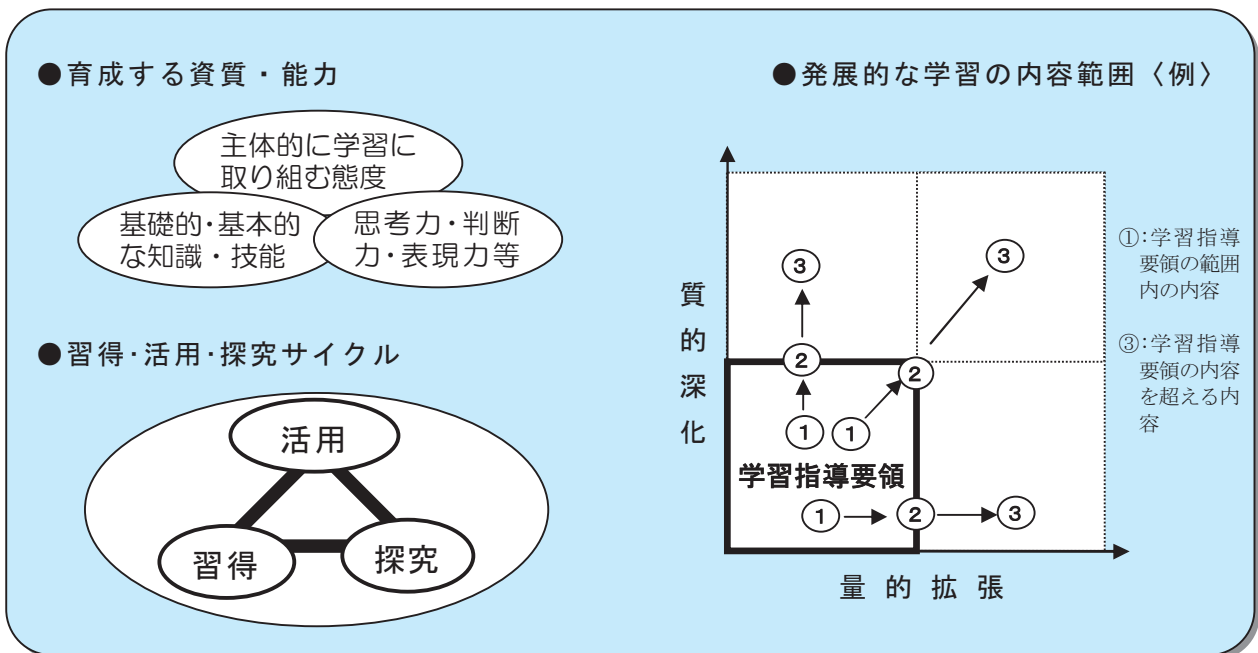
東京都教育委員会では、発展的な学習について、「学習指導要領に示された内容の理解を一層深める学習や広げる学習、さらに進んだ内容についての学習」と定義した。この定義により、発展的な学習を次の二点から設定した。

第一点は、学習指導要領の内容をさらに深めたり、広げたりする学習である。

第二点は、学習指導要領の内容をさらに進める（超える）学習である。

また、「習得」・「活用」・「探究」を学習活動で捉えるならば、発展的な学習は、課題を解決するために習得した知識・技能を活用し、思考力・判断力・表現力等を育成する「活用」・「探究」の学習活動が中心となる。ただし、「習得」・「活用」・「探究」は、「探究」から「活用」に進んだり、「活用」から「習得」に進んだりすることもある。

このように、これらの発展的な学習を通して、基礎的な知識及び技能を確実に習得させるとともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等をより一層育み、主体的に学習に取り組む態度を養っていくことが大切である。



3 「発展的な学習」の学習指導要領における位置付け・留意点について

東京都教育委員会では、学習指導要領に示す目標及び内容を十分に身に付けている児童・生徒に対しては、個に応じた指導の充実を図る観点から、児童・生徒の能力・適性、興味・関心等に応じて、さらに学習を広げたり、深めたり進めたりするための発展的な学習が大切であると考えている。

文部科学省においても、平成14年1月17日、「確かな学力向上のための2002アピール『学びのすすめ』」において、「学習指導要領は最低基準であり、理解の進んでいる子どもは、発展的な学習で力をより伸ばす」と示している。このことを踏まえ、発展的な学習は、平成20年3月に告示された「中学校学習指導要領 総則」の「第2 内容等の取扱いに関する共通的事項」に、「2 学校において特に必要がある場合には、第2章以下に示していない内容を加えて指導することができる。また、第2章以下に示す内容の取扱いのうち、内容の範囲や程度等を示す事項は、すべての生徒に対して指導する内容の範囲や程度等を示したものであ

り、学校において特に必要がある場合には、この事項にかかわらず指導することができる」と位置付けられている。

発展的な学習の留意点としては、「中学校学習指導要領 総則」の「第2 内容等の取扱いに関する共通の事項」において、「第2章以下に示す各教科、道徳及び特別活動並びに各学年、各分野又は各言語の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担過重となったりすることのないようにしなければならない」と示されており、生徒の学力の定着状況を学習の進行具合に即して把握する必要がある。

また、「第4 指導計画の作成等に当たって配慮すべき事項」として、「1 各学校においては、次の事項に配慮しながら、学校の創意工夫を生かし、全体として、調和のとれた具体的な指導計画を作成するものとする。(1)各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的、発展的な指導ができるようにすること」「2 以上のほか、次の事項に配慮するものとする」「(7) 各教科の指導に当たっては、生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、学校や生徒の実態に応じ、個別指導やグループ別指導、繰り返し指導、学習内容の習熟の程度に応じた指導、生徒の興味・関心等に応じた課題学習、補充的な学習や発展的な学習などの学習活動を取り入れた指導、教師間の協力的な指導など指導方法や指導体制を工夫改善し、個に応じた指導の充実を図ること」と示されており、学校をあげて組織的・計画的に年間指導計画を作成し、発展的な学習を推進していく必要がある。

4 発展的な学習における評価の基本的な考え方

発展的な学習においては、個性の一層の伸長を図る観点から、生徒のよい点を積極的に評価していくことが重要であり、適切に評価することが大切である。具体的には、生徒一人一人のよい点や可能性、進捗の状況などの評価（個人内評価）を重視し、学習指導の過程において、適宜、評価の結果を生徒に伝えることにより、その後の学習に意欲的に取り組めるようにし、指導要録の「総合所見及び指導上参考となる諸事項」の欄に記入し、その後の指導に生かすことが大切である。

なお、生徒の学習状況の評価については、発展的な学習を行ったかどうかに関わらず、学習指導要領に示す目標及び内容に照らして、その実現状況を評価する「目標に準拠した評価」によって行うものである。したがって、発展的な学習に取り組まなければ高い評定（例えば「4」や「5」）などを付けないということではないことに留意する必要がある。

評価の実施に当たっては、評価の観点や評価規準、生徒の発達段階に応じて、生徒との対話、ノート、ワークシート、学習カード、作品、レポート、ペーパーテスト、質問紙、面接など多様な評価方法の中から、その場面における生徒の学習の状況を的確に評価できる方法を選択していくことが必要である。また、生徒による自己評価や生徒同士の相互評価を工夫することが大切である。

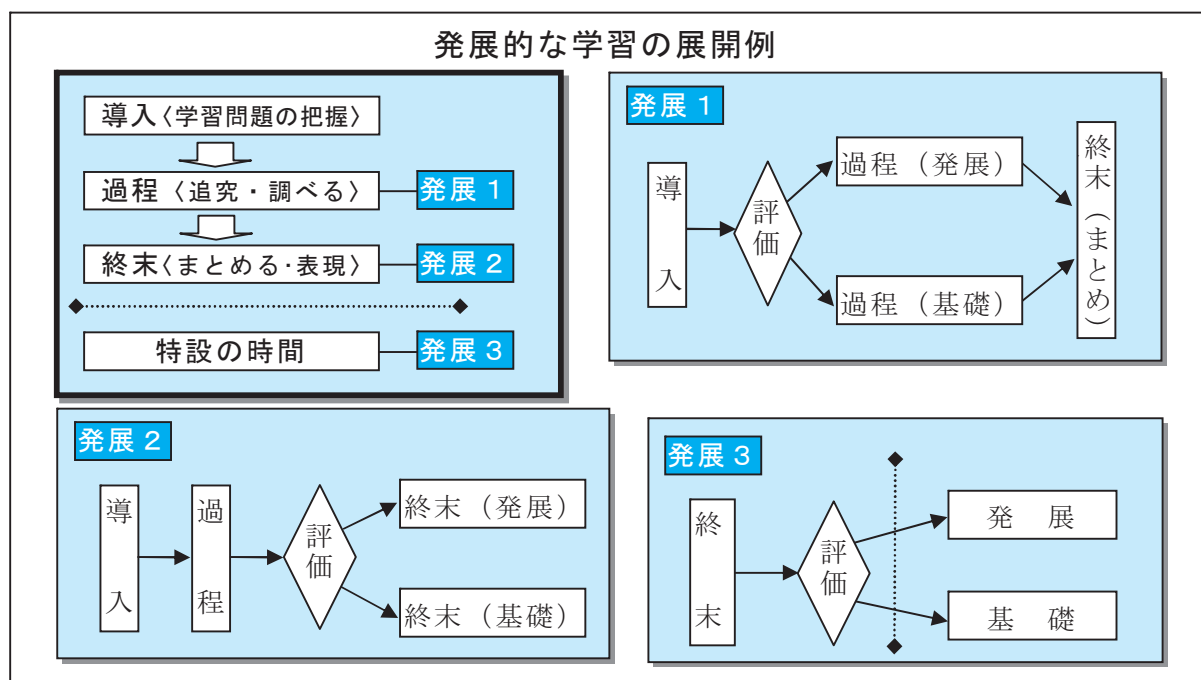
各学校においては、個に応じた指導の充実のため、指導と評価の一体化を進め、指導に生かす評価が可能となるような指導計画を立て、発展的な学習を展開していく必要がある。

5 本指導資料の活用について

本指導資料における指導方法と教材の活用に当たっては、前記の「1 習熟の程度に応じた学習指導」から「4 発展的な学習における評価の基本的な考え方」を十分に踏まえた上で、国語・社会・数学・理科・外国語（英語）における年間指導計画に、組織的・計画的に発展的な学習を位置付けることが大切である。

また、指導計画を位置付ける際には、育成したい資質・能力を明確にし、教科・単元の特性、生徒の学力の定着状況等の実態を十分把握した上で、「単元の指導計画の過程」・「単元の指導計画の終末」・「特設」等、効果的に位置付ける必要がある。

展開方法については、目標や教材特性及び生徒の実態に応じて、個別指導、グループ別指導、一斉指導など、効果的な方法をとる必要がある。



本指導資料の事例は、次のようなフレームによって構成している。

- 1 事例の概要（○時間扱い）
本事例は、どのような発展的な学習なのかを具体的に記述している。
- 2 指導計画の位置付け
本事例は、単元のどこに位置付くのかを記述している。
（「1 単元の過程」「2 単元の終末」「3 特設の時間」）
- 3 目 標
「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」、「知識・理解」の4観点から、本事例で培いたい資質・能力を重点化・焦点化して、記述している。
- 4 学習活動の展開
 - 主な学習活動 ・ 学習内容
「○主な学習活動」「・学習内容」や予想される生徒の反応を記述している。
 - 指導上の留意点
指導する上での留意点を、具体的に記述している。
 - 資料等
授業で使用するワークシート、資料等を記述している。
 - ◆ 評価〔方法〕
評価内容、評価の観点、評価方法等を記述している。
- 5 資料等
表、グラフ、読み物、図やワークシート等、授業に活用できるようにしてある。

Ⅱ 外国語科(英語)における発展的な学習の事例

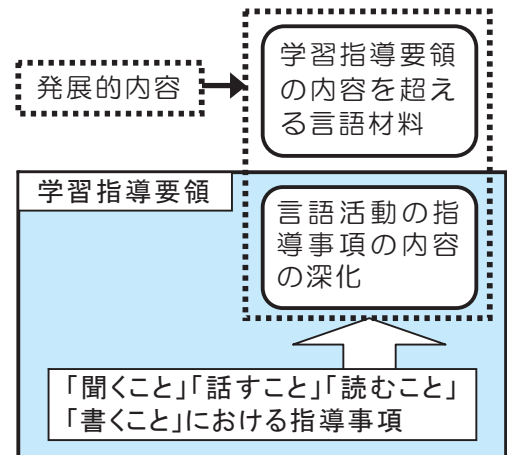
○ 外国語科(英語)における発展的な学習についての基本的な考え方

外国語科(英語)においては、その特性を踏まえ、発展的な学習を推進するための指導資料を開発した。外国語科(英語)の特性としては以下のものが挙げられる。

- ・ コミュニケーションを目的として外国語を運用することができる能力の基礎を養う。
- ・ 「聞くこと」、「話すこと」、「読むこと」、「書くこと」の4領域の言語活動の指導事項は、生徒の学習の習熟の程度に応じて、3年間で繰り返し指導する。

また、平成24年度から全面実施される中学校学習指導要領では、標準授業時数が各学年で105時間から140時間に増加され、言語活動の充実と言語材料の定着を図ることが求められている。

これらに基づき、発展的な学習につながる教材及び指導方法について検討した。まず、中学校学習指導要領の範囲を超える言語材料を扱うことを発展的な学習と考えた。次に、例えば「自分の考えや気持ちが正しく伝わるように書く」という指導事項については、「客観的な事実を正しく伝わるように書く」など、各領域の言語活動の指導事項の内容を深化させることも発展的な内容となると考え、指導資料の開発を行った。



○ 外国語科(英語)において開発した発展的な学習を推進するための指導資料

外国語科(英語)において開発した発展的な学習を推進するための指導資料は、次の5事例である。

- ① ゲストの希望を取り入れて、パーティーの計画を立てよう [聞くこと、話すこと]
- ② 色鉛筆の持ち主を当てよう [読むこと、書くこと]
- ③ 自分の意見をまとめて話し、友達の意見を聞いてみよう [話すこと、書くこと]
- ④ 博物館へ行こう [聞くこと、話すこと、読むこと、書くこと]
- ⑤ 外国の人に紹介するレシピを作ろう [話すこと、書くこと]

1 指導計画の位置付け

外国語科(英語)において開発した発展的な学習を推進するための教材・指導方法について、指導計画上での位置付けで分類すると次のようになる。

1 単元の指導計画の過程(途中)に位置付けるもの

- ② 色鉛筆の持ち主を当てよう
- ④ 博物館へ行こう

2 単元の指導計画の終末に位置付けるもの

- ③ 自分の意見をまとめて話し、友達の意見を聞いてみよう

3 指導計画外の特設された時間を活用するもの

- ① ゲストの希望を取り入れて、パーティーの計画を立てよう
- ⑤ 外国の人に紹介するレシピを作ろう

2 開発した発展的な学習における事例の概要

① ゲストの希望を取り入れて、パーティーの計画を立てよう (P. 12)

本事例は、「自分が聞いたことをペア同士で正しく伝えることができる力」を育成することをねらいとしている。

本事例は、ペアをつくり、それぞれが別々の相手にインタビューをし、聞き取った内容を相手と正確に伝え合い、その情報を基にパーティーの計画を立てる発展的な学習とした。

② 色鉛筆の持ち主を当てよう (P. 18)

本事例は、英文を読んで得られた複数の情報について、一つ一つを検討しながら全体像を把握していくことで、論理的な思考力を養うことをねらいとしている。

本事例は、指定された課題について様々な比較の表現を使った英文を読み、そこから得られた情報を基に思考し、課題を解決する発展的な学習とした。

③ 自分の意見をまとめて話し、友達の意見を聞いてみよう (P. 24)

本事例は、まとまりのある文章を読み、その内容について自分の意見や考えを加えながら、相手に正確に伝えることができるようにすることをねらいとする。

本事例は、風力発電を取り上げた単元のまとめとして、自分の意見や考えを資料の写真やグラフなどを示しながら発表する発展的な学習とした。

④ 博物館へ行こう (P. 32)

本事例は、未習の文法事項を含む英文から意味を推測したり辞書を使ったりして、必要な情報を読み取ること、また、根拠を明確にし、自分の考えが相手に正確に伝わる英文を書くことをねらいとしている。

本事例は、ゲストティーチャーの希望に合う博物館を選ぶため、三つの博物館に関する紹介の文を読み、情報を比較し、推薦する博物館を決める発展的な学習とした。

⑤ 外国人に紹介する料理のレシピを作ろう (P. 38)

本事例は、自分の考えではない、客観的な情報について、必要な情報が正確に相手に伝わるように英文を書くことをねらいとしている。

本事例は、お好み焼きのレシピを英語で書きながら料理で使われる表現を学び、それらを用いて、自分の選んだ料理のレシピを書き、発表する発展的な学習とした。

3 開発したミニ事例集の概要

前ページの5事例の他に、下記のミニ事例を開発した。これらは発展的な学習の視点に基づき作成したワークシートであり、各事例は20分程度で指導することができる。

① 御伽双子 ～2つの昔話を作ろう～（P. 46）

ばらばらに分けられた桃太郎と浦島太郎の話を、それぞれ順番どおりに並べ替えて二つの話を作る。文と文のつながりに注目しながら内容や代名詞などを手掛かりにして、英文を並び替えていく。また、分からない単語があっても話の内容から意味を想像して読み進めていく。

② 英語で折り紙をしよう（P. 47）

簡単な英語で書かれた折り紙の折り方を、イラストと英文から推測する。その後、そこで学習した折り方についての表現を用いて、自分で選んだ折り紙の折り方の説明文をつくる。

③ 英語で数学 ～英語を読んで計算をしよう～（P. 48）

バスケットボールでの得点や飼っている犬の数、どの経路を使うと早く目的地に到着するかについて、受動態、比較表現、関係代名詞などの文法事項を含む英文を読み、簡単な一次方程式や連立方程式などを使って解答する。

④ Who am I? ～この有名人は誰だ～（P. 49）

関係代名詞を用いて表されたヒントを参考に、英文が示す人物を解答することで、歴史上の出来事や関連する項目について読み進めていく。また、ヒントの英文を参考にし、日本古来の玩具の紹介文を作る活動へと学習を発展させる。

⑤ 英語で日本家屋を紹介しよう（P. 50）

日本文化の一例として、日本家屋を取り上げる。日本家屋にあるふすま、畳などを外国人に説明できるようにするため、英語の説明と住居の絵と結び付けながら、英語を用いた紹介の方法を学習する。

第3学年 単元「パーティーの計画を立てる」(聞くこと、話すこと)

ゲストの希望を取り入れて、パーティーの計画を立てよう

1 事例の概要 (2時間扱い)

(1) 単元について

中学校学習指導要領における「聞くこと」の指導で取り上げられている内容は「自然な口調で話されたり読まれたりする英語を聞いて、情報を正確に聞き取ること」というように、聞き取るという段階までが示されている。また、正確に聞き取るために「話し手に聞き返すなどして内容を確認しながら理解すること」という内容が取り上げられている。

このことを踏まえて、学習指導要領の「聞くこと」の内容をさらに発展させて、Assistant language teacher (ALT) と Japanese teacher (JT) から聞いた情報を英語で相手に正確に伝えることができるよう、「パーティーの計画を立てる」という学習活動を発展的な学習として位置付けた。

(2) 発展的な学習について

本事例は、各自が聞き取った内容を相手に正確に伝え、お互いに協力しながら相手から聞いた情報を基に、パーティーの計画を立てるというタスクを通して、「情報を正確に聞き取り、その聞いた内容を相手に正しく伝える。」という発展的な学習を設定した。また、相手の発言内容を聞き取れないときや理解があいまいなときには Pardon? と聞き返すだけでなく、コミュニケーションを円滑に進めるために、I'm sorry, but I can't hear you. Would you please say that again? You said..., right? などの様々な表現を使うことも発展的な学習の内容となる。

2 指導計画の位置付け (は発展的な学習の時間)

(1) ALTの都合やパーティーに対する要望などについて、英語で円滑にコミュニケーションが図れるように、必要な英語表現を取り上げ、口頭練習などを行う。(1時間)

(2) ALTとJTに日程の都合やパーティーの内容について希望を聞きながら、パーティーの計画作りを行う。(1時間)

3 目標

- パーティーを開催するに際して、ALTとJTそれぞれに必要なことを尋ねて、それを正確に聞き取ることができる。
- ALTとJTから聞き取った内容を相手に正確に伝えることができる。
- 各自がALTやJTから聞き取り、ペアで共有した情報を基に、英語で会話しながらパーティーの計画を作り上げることができる。

4 学習活動の展開

	○主な学習活動 ・ 学習内容	□指導上の留意点 ●資料等 ◆評価[方法]
第一時	<p>①ALTを交えて英語パーティーを行うための計画を立てる。パーティーの写真、パーティーグッズなどを示し、パーティーのイメージをもつ。</p> <p>②パーティーの計画を立てるために、ALTやJTにどのような質問をしたらよいかを考える。</p> <p>③「②」で出された質問とその答え方を口頭練習する。時間があれば、生徒同士ペアになり、質問の仕方を練習する。</p>	<p>●パーティーの様子の写真</p> <p>□聞き取れないときや、確認したいときに使う表現、話しをもちかけるときに使う表現も合わせて指導する。</p> <p>□最後は、JTが生徒から出てこなかった質問を付け加える。</p> <p>●Q&A質問集 ◆質問の練習に積極的に参加している。 (コミュニケーションへの関心・意欲・態度) [観察]</p>
第二時 導入	<p>Warm-up</p> <p>・どのようにしたら楽しいパーティーになるかを考える。</p>	<p>□パーティー立案へのアイデアについて質問をする。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>What makes parties fun? What do you want to do at the party?</p> </div> <p>□生徒のアイデアを教師が黒板に書き出す。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 20px; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>T: As I told you in the last class, we are going to have a casual English party together. I want you to make a party plan for (ALT) and me. Have you ever planned a party?</p> <p>SS: Yes, I have. / No, I haven't.</p> <p>T: We want you to make the party fun. Why are parties fun?</p> <p>SS: Um...It's informal, comfortable, relaxing... We can mix with each other.</p> <p>T: What makes parties fun?</p> <p>SS: Fun games, a surprise thing, and so on.</p> </div>

①ペアになり分担してALTとJTの都合やパーティーの内容についての希望を聞く。それぞれから聞いた情報を持ち寄り、計画を立てる。

□ 計画作りの手順を説明する。

T: I'll give you a worksheet to make a plan. You have to decide when to have the party, what time to start and to end the party. Decide what food and drink to prepare by asking what we want. Make a fun party by asking what we want to do at the party. You are going to make pairs. And one student of each pair, ask me. And the other, ask ALT. You can take notes in the interview to us.
After asking the questions, share information with each other and plan a party using English.

②インタビュー活動のために、「前時に練習した質問」の口頭練習をする。

□ Would you please say that again? You said..., right?
などの表現についても確認する。
◆ 練習を積極的に行っている。
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
[観察]

③インタビュー活動を行う。

□ 生徒のインタビューに際し、ALTとJTは離れた場所に位置する。
● ワークシートA
◆ 聞き取ったことをワークシートに記入できる。(外国語理解の能力) [ワークシート]

S: We're planning to have a casual English party. And we'd like you to join us.
T: Of course. I'd like to. When is the party?
S: We want to make it on the next Saturday. Can you come?
T: I'm free on that day.
S: Great. May I ask some questions for the party?
T: Yes, please.
S: What drink do you want to have?
T: I'm glad to have some lemonade.
S: I can't hear you. Pardon?
T: I said lemonade.
S: I don't know it. What is that?
T: It's cold lemon juice with some sugar and water.
S: I see. I will make it.

⋮

5 参考資料

(1) Q&A質問集

計画づくりに必要な表現集

1 予定を聞くときの表現

- We're planning to have a casual English party. And we'd like you to join us.
- May I ask some questions?
- When shall we have the party?
- What time shall we start it?
- Can you meet on October 12?
- Can you meet at 1:30?

2 飲食類について聞くときの表現

- What food and drink would you like to have? What's your favorite food / drink? Anything else?
- Can you eat / drink.....? Which do you like better, A or B?
- Do you like Japanese food?

3 パーティーで何をしたいかを聞くときの表現

- What would you like to do at the party?
- Can you play.....? Do you want to (play sports).....?
- (ALT) wants to do..... Do you want to do the same thing as (ALT)?

4 ペア同士の話し合いで使う表現

(ALT) said, "November 5 is fine."

(ALT) / (JT) likes

(ALT) / (JT) wants to do....

How about (ALT) / (JT)?

Let's ask (JT) / (ALT) again.

What do you think about my idea?

Your idea is good. I agree with you.

I don't think so. I think (*sushi* / playing volleyball) is better.

I want to accept your idea. / Let's do it!

Really?

What did (ALT) / (JT) say?

5 その他（相手の言ったことが聞き取れないときや確認したいときに使う表現）

Pardon?

I'm sorry, but I can't hear you.

Would you please say that again?

You said..., right?

6 ワークシート

(1) ワークシートA

A casual English Party with ALT
(インタビュー用)

Information about _____ . _____ (どちらかに○)
ALT name ・ JT name

Date : _____

Time : _____ ~ _____

Favorite food _____

Favorite drink _____

(_____) wants to _____

(2) ワークシートB

Let's have a casual English Party with ALT
(最終パーティー立案書提出用)

Name: _____ & _____ (ペアの名前)

インタビュー用紙にメモしたことを、確認しながら、2人の条件が合うようにパーティーの立案をしよう。

Date : _____

Time : _____ ~ _____

Food & Drink _____

(_____) and (_____) want to _____

第2学年 単元「比較の表現」(読むこと・書くこと)

色鉛筆の持ち主を当てよう

～比較の表現を使った論理的思考～

1 事例の概要 (9時間扱い)

(1) 単元について

中学校では、中学校学習指導要領の文法事項に示されている形容詞及び副詞の比較変化について学習している。

このことを踏まえて、発展的な学習として、「5人の人物がそれぞれ、色と長さの異なる鉛筆を一本ずつ持っている」という条件で、誰がどの鉛筆を持っているかを様々な比較の表現を使った英文をヒントにしながら、考えていく学習活動を位置付けた。

この学習活動では、比較の表現を定着させるとともに、英文から情報を正確に読み取り、それらの情報を組み合わせて課題を解決していく。また、授業のまとめとして、得られた情報を基に、比較の表現を使った様々な英文を書く活動を行う。

(2) 発展的な学習について

本事例は、様々な比較の表現を含む英文から、課題を解決するために必要な情報を正確に読み取り、それらの情報を筋道立てて整理し、課題を解決していくことをねらいとした。

2 指導計画の位置付け () は発展的な学習の時間


(1) 比較の表現 (比較級・最上級・同等比較) (8時間)

(2) 比較の表現を使った課題解決 (1時間)

3 目標

- 比較の表現を含む英文から必要な情報を正確に読み取り、その情報を整理することができる。
- 整理した情報を基に論理的に思考し、課題を解決することができる。

4 学習活動の展開

	○主な学習活動 ・ 学習内容	□指導上の留意点 ●資料等 ◆評価[方法]
導入	<p>①スモール・トーキングを行う。 教師の質問に生徒が答える。 生徒同士で同様に話をする。</p> <div data-bbox="304 510 1406 862" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>< 会話例 ></p> <p>T: I watched the drama on TV last night. Which do you like better, drama or <i>owarai</i>?</p> <p>S: I like drama better.</p> <p>T: What is your most favorite drama?</p> <p>S: It's ○○.</p> </div>	<p>□比較変化の復習となるよう意図的に発問する。 ◆教師の質問に積極的に答えている。 (コミュニケーションへの関心・意欲・態度) [観察]</p>
	<p>②電子黒板のイラストの内容を表す表現を使って答えることで、比較変化の復習をする。</p> <div data-bbox="264 1131 874 1568" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>(右のスライドを示して)</p> <p>S1: Ken is taller than Yuta. S2: Yuta is shorter than Ken. (Taro と Ken のスライドを示して)</p> <p>S3: Taro is taller than Ken. S4: Ken is shorter than Taro. (3人に関する情報がそろったところで)</p> <p>T: Who is the tallest of the three? SS: Taro is the tallest.</p> </div> <div data-bbox="965 1131 1422 1489" style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="text-align: center; margin-right: 10px;"> <p>Yuta Ken</p>  </div> <div> <p>左図のようなスライドで3人の中学生 (Yuta, Ken, Taro) の組み合わせを変える。</p> </div> </div> </div> <p>●電子黒板 ●スライド</p>	<p>□複数の情報を組み合わせながら、全体を理解させていくことに気付かせる。 □下の表現を板書し、用法を説明する。 □この後の活動で使用するいろいろな比較表現について説明する。</p>
<p>発展的な内容としての表現</p> <p>「 A is not so <u> (原級) </u> as B.」 AはBほど～ではない</p> <p> = B is <u> (比較級) </u> than A.</p> <p>「 <u> (比較級) </u> than any other 単数形 」 他の何よりもより～だ (最も～だ)</p> <p>「 the second(third) <u> (最上級) </u>」 2番目に (3番目に) ～だ</p>		

タスク（ワークシート）

③教師による活動の説明を聞く。

□生徒の習熟の程度に応じて、活動の説明を英語で行う。

これから課題解決ゲームを行います。

5人の登場人物たちが、それぞれ色と長さの異なる鉛筆を持っています。そのことについて9つの英文から少しずつ情報が与えられます。それぞれの情報を整理して、色鉛筆を長い順番に並べ、その色鉛筆を誰が持っているかを考えます。

* 生徒への英文の提示の仕方として、生徒の習熟の程度に応じて以下のような方法が考えられる。

- 英文を文字で提示する。（板書・プリントなど）
- 教師が英文を読み、生徒がディクテーションをする。

* さらに発展させた活動としては、英文の情報について文字で書かせずに、グループ内で均等にカードを配り、口頭による説明や質問だけで課題を解決していくことが考えられる。この場合、色鉛筆を長い順番に並べる課題（課題1）については必要な情報を選択して考えなければならない。人物と持っている色鉛筆を組み合わせる課題（課題2）では、課題1から得られた情報と新たな情報を関連付けながら考えることが必要となる。

また、生徒がもっている情報を、伝え合ったり、確認の質問をし合ったりすることで、よりコミュニケーション的な活動となる。

課題1 色鉛筆を長い順に並べましょう。

課題2 人物と持っている色鉛筆を組み合わせましょう。

●ワークシート

□登場人物の名前を確認させる。
□必要に応じて、本時で説明した比較の表現について再度確認する。

④英文を基にワークシートの課題1に取り組む。

□ワークシートの課題1のメモ欄にはメモを英語で書くように指示する。

□机間指導をしながら生徒からの質問に答える。

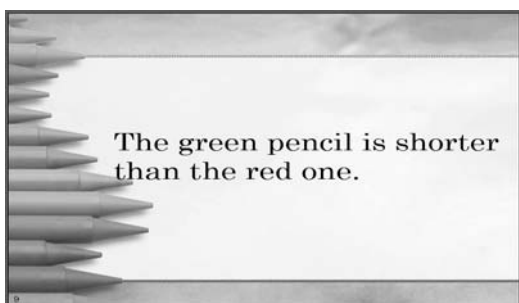
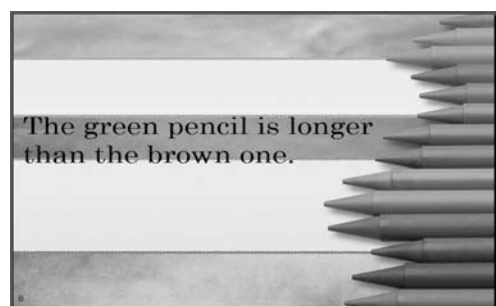
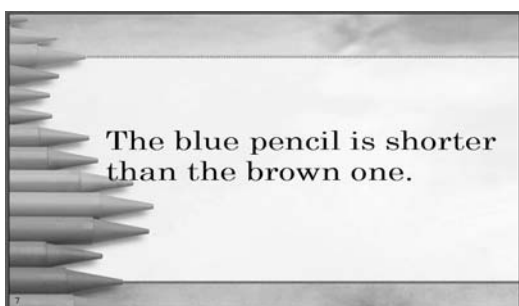
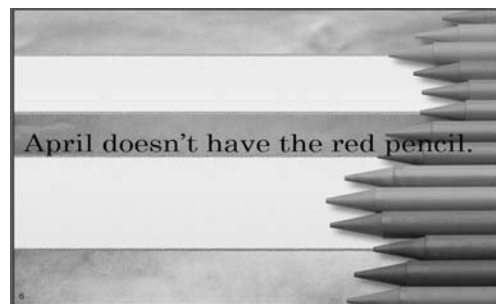
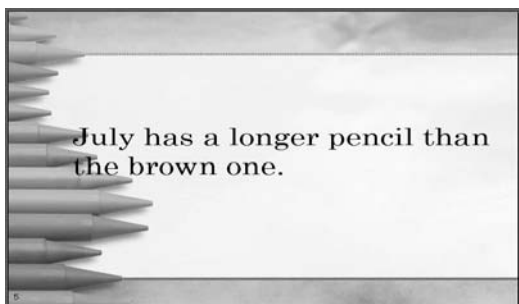
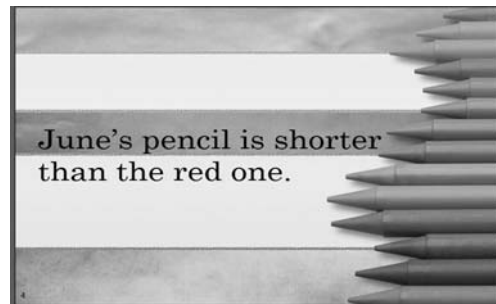
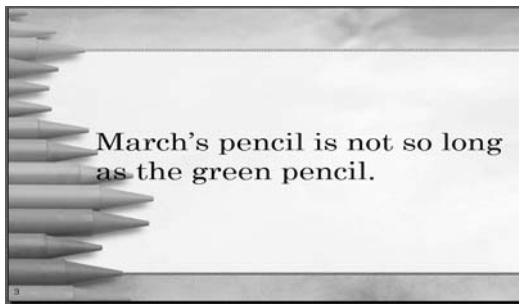
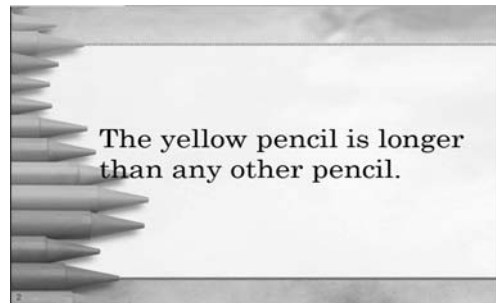
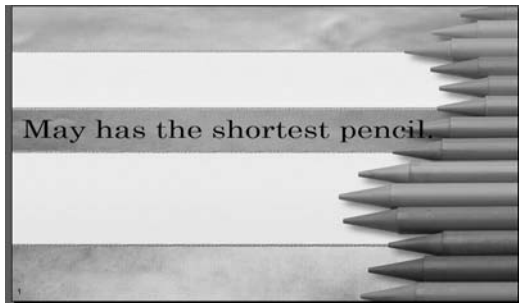
□課題を進められない生徒には英文一覧の「2、7、8、9」の英文を使えばよいことを伝える。

⑤課題1の解答を確認する。

⑥ワークシートの課題2に取り組む。

□課題1の結果と関連させながら、課題2に取り組むように指示する。

⑦課題2の解答を確認する。



- 1 May has the shortest pencil.
- 2 The yellow pencil is longer than any other pencil.
- 3 March's pencil is not so long as the green pencil.
- 4 June's pencil is shorter than the red one.
- 5 July has a longer pencil than the brown one.
- 6 April doesn't have the red pencil.
- 7 The blue pencil is shorter than the brown one.
- 8 The green pencil is longer than the brown one.
- 9 The green pencil is shorter than the red one.

● 分かったことについてメモしましょう。

課題1 色鉛筆を長い順に並べましょう。

blue · yellow · green · red · brown

Long

Short

() > () > () > () > ()

課題2 人物と持っている色鉛筆を組み合わせましょう。

March - () April - () May - ()

June - () July - ()

課題3 得られた情報について、いろいろな比較の表現を使って書きましょう。

第3学年 単元「Picture Describing から話す活動へ」

(話すこと、書くこと)

自分の意見をまとめて話し、友達の意見を聞いてみよう

1 事例の概要 (2時間扱い)

(1) 単元について

本単元においては、中学校学習指導要領の「2内容(1)イ(ア)(イ)」に基づき、まず物語や内容のまとまりのある文章を読んだり、聞いたりしてインプットの活動を行う。

このことを踏まえて、発展的な学習として、「発信力」を育てるために、次のような学習活動を位置付けた。

- ① 「書くこと」の活動で、題材の内容について自分でまとめたものや感じたことを英語で表現する活動
- ② 書いた内容を、「話すこと」を通して相手に発信し、意見や感想などを伝え合う活動

これらの学習活動は、教科の単元の内容に即して、それぞれの単元の終末に行うこともできる。

(2) 発展的な学習について

本事例では、風力発電についての文章を読んで、既習の英語表現を用いて、自分の意見や感想を書くことをねらいとした。また、それぞれの生徒が意見や感想を伝え合い、学び合うことで、自分の意見を分かりやすく表現する力をさらに深める。

2 指導計画の位置付け (は発展的な学習の時間)

(1) まとまりのある文章を読み、その内容を正しく把握する。 (1時間)

(2) 題材の内容についてまとめ、それぞれの意見を伝え合う。 (1時間)

3 目標

- まとまりのある文章を要約しながら、自分の考えや意見を加えて書くことができる。
- 相手から伝えられた情報などについて、意見や感想を述べることができる。

4 学習活動の展開

	○主な学習活動 ・ 学習内容	□指導上の留意点 ●資料等 ◆評価[方法]
導入	<p>①英語で挨拶をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>T: Good morning, class. S: Good morning, Mr. / Ms.～. T: How are you, today? S: I'm fine, thank you.</p> </div> <p>②スモール・トーキングを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師と生徒 ・生徒同士 	<p>□指導上の留意点</p> <p>●資料等 ◆評価[方法]</p> <p>□スモール・トーキングに、教科書の本文や前回、読んだ物語の内容を組み込ませる。</p> <p>□机間指導の際に、教師もスモール・トーキングに加わるなど、活発な会話をうながす。</p> <p>●チェックシート</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>スモール・トーキング（教師と生徒）の例</p> <p>T: In the last lesson, we studied about wind power. Do you remember that?</p> <p>S1: Yes, of course!</p> <p>T: What do you remember?</p> <p>S1: We studied about the windmills.</p> <p>S2: In Japan, we have a lot of windmills. They can make a lot of energy.</p> <p>T: That's right. You remember well. So what should we do for the earth?</p> <p>S1: We should save energy.</p> <p>T: Good. Now, please make pairs and talk about wind power.</p> <p style="text-align: center;">（生徒同士のスモール・トーキング）</p> <p>T: OK. Please stop talking and tell me what you talked about.</p> <p style="text-align: center;">（1～2組程度ペアを選んで、話した内容を聞く。）</p> </div>
展開	<p>③学習内容について、オーラルインタラクションを行い、復習をする。</p>	<p>□復習をさせながら、内容の確認をする。</p> <p>□内容を理解できているか確認しながら進める。</p> <p>●スライド</p> <p>◆積極的にオーラルインタラクションに参加している。 （コミュニケーションへの関心・意欲・態度）</p> <p style="text-align: right;">[観察]</p>

オーラルインタラクション (使用スライド) の例

T: First, look at this picture. 【スライド (1) の左上の写真を指す】 What is this?

S1 : The ice.

T : Good guess. But it's actually a "glacier". This picture is the Patagonia Glacier in South America. A glacier is large body of ice that can take hundreds of years to melt away.

Next, take a look at this picture. 【スライド(1)の右下の写真を指す】 What do you see?

S1: Water S2: Lake.

T : You're correct. This picture shows the Patagonia Glacier 80 years later.

What do you think happened?

S1: Global warming happened.

T: We can use wind power to save energy. We have windmills around the world.

What countries have them? 【スライド (2) を指す】

S1: America. S2: Indonesia. S3: Australia.

T: Which country has the most windmills? 【スライド (3) を指す】

S1: Germany.

T: That's right. In the world, Germany has the most windmills. How about Japan?

We have windmills here in Japan, too. In Hokkaido, we can find a lot of windmills.

Now we have to save energy. What can we do? 【スライド (4) を指す】

S1: We won't use cars so much. S2: I will use a bicycle or walk.

S3: We will turn off the lights when we don't use them.

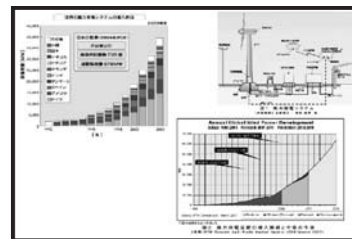
T: I believe that you have a lot of ideas about the story, so please write your opinion or what you are thinking on your sheet.

【スライド】

(1)



(3)



(2)



(4)



④題材の要点をまとめ、内容の要約をする。

□自分が感じたこと、考えたことを加えるように指示する。

□机間指導をし、正しく書けているか確認する。

□他の生徒にも参考になる表現を板書して、全体に知らせる。

◆自分の考えや意見を加えながら、まとまりのある文章を書くことができる。

(外国語表現の能力) [観察]

『他の生徒にも参考になる表現』の例

- To save energy we have to cut the time we use cars. Instead, we can use our bicycles, buses or trains to go anywhere.
- We have a lot of windmills in Japan, but the newspaper I read said that windmills cost a lot. Besides that, it doesn't produce enough energy we need.
- I think it's necessary idea to save energy, and we have to think more and more to save the Earth. We have a lot of things to do.

⑤書いた英文の内容をペア同士で伝え合う。

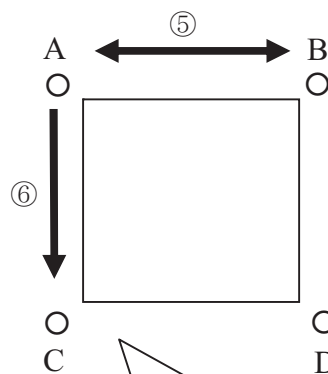
□ワークシートを見ないで伝えるように指示する。

◆相手から伝えられた情報などについて、意見や感想を述べることができる。

(外国語表現の能力) [観察]

T: You all can write about the story with your words. Now, please talk with your partners about your opinion or what you wrote.

⑥「⑤」でペアの相手から聞いた情報や感想について、自分の考えを加えて別の人に伝える。



T: You all got many opinions from your partners. Now, please talk with the other partners about the opinions you just got.

伝達の例

⑤A : To save energy we have to turn off the lights , when we leave a room.

B : I think it's necessary to save energy, and we have to think more and more to save the earth.

⑥A : B said that he thought it's necessary to save energy, and we have to think more and more to save the earth. I agree with B.

まとめ

⑦数人の生徒が、自分の意見とパートナーから聞いた意見について発表する。

⑧ワークシートを回収する。

□発表する生徒は希望をとるか事前に決めておく。

5 板書計画

Monday, October 3rd Sunny



Today's Key Sentence

- To save energy we have to cut the time we use a car. Instead, we can use our bicycles, buses or trains to go anywhere.
- We have a lot of windmills in Japan, but the newspaper I read said that windmills cost a lot. Besides that, it doesn't produce enough energy we need.
- I think it's necessary to save energy, and we have to think more and more to save the earth. We have a lot of things to do.

スクリーン (スライド例)



☆ ☆ Questions and Answers ☆ ☆

時間内でどれくらい質問ができるかな？

Questions

- ① How are you today?
- ② Have you ever seen the real windmills?
- ③ What do you think about the windmills?
- ④ Do you do any good activities to save the power?
- ⑤ What do you always do to save the power?
- ⑥ What will you do?
- ⑦ What do you think about the story?
- ⑧ What else can we do for the earth?
- ⑨ What do you think ~?

Answers

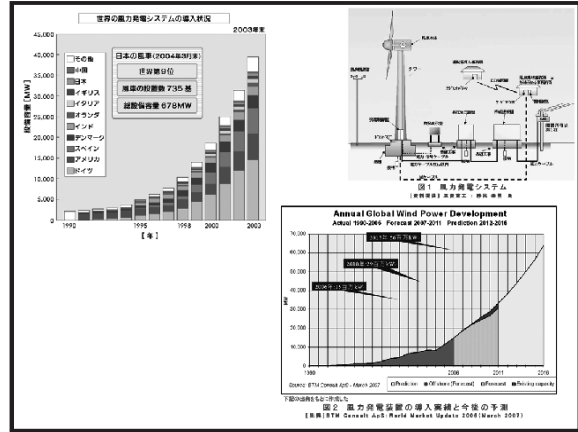
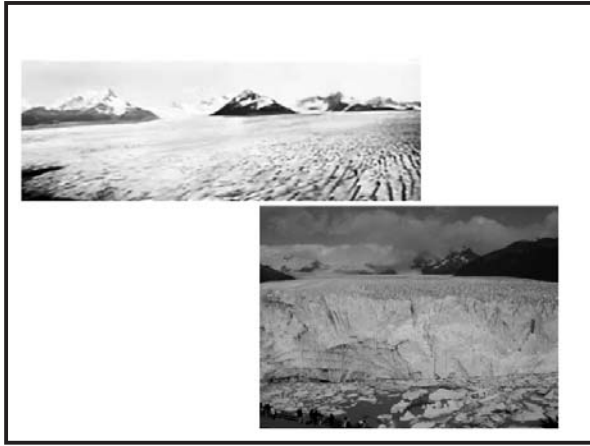
- ① I'm fine. / sleepy./ hungry./ tired. /not so good.
- ② Yes, I have. / No, I haven't.
- ③ I think ~.
- ④ Yes, I do ~. / No, I ~.
- ⑤ I ~.
- ⑥ I will ~.
- ⑦ I think ~.
- ⑧ I can ~.
- ⑨ I think ~.

何番まで質問できたか、記録しよう!!!

日付	/	/	/	/	/	/	/
質問							
答え							

English Letter

~Picture Describing & Story Telling~



第3学年 単元「博物館の案内文を読む」

(聞くこと、話すこと、読むこと、書くこと)

博物館へ行こう

1 事例の概要 (2時間扱い)

(1) 単元について

本単元は、中学校学習指導要領の2内容「(1)ウ(ウ)(ウ)」及び「エ(ウ)(ウ)」に基づき、辞書を使ったり、意味を推測したりしながら、未習の単語や文法事項を含んだ英文から必要な情報を読み取り、それについての自分の考えを正確に伝える英文を書く活動を発展的な学習として位置付けた。

またグループでそれぞれの考えを発表し、お互いの考えや新しい英語の表現を学び合い、相手に正確に伝えるための表現を学習する。

(2) 発展的な学習について

本事例では、外国から来日するゲストティーチャーに博物館を紹介するというタスクを設定する。具体的には、複数の博物館に関する英文を個人で読み、情報を集め、推薦する博物館を選ぶ。次に、それぞれの推薦理由を比べながらグループで意見をまとめていく。最後に、グループで決定した博物館の推薦理由を英文で書く活動を行う。

2 指導計画の位置付け (は発展的な学習の時間)

(1) ゲストに紹介したい博物館の説明文を読む。(1時間)

(2) グループで紹介する博物館について話し合い、推薦する理由を英文で書く。(1時間)

3 目標

- 目的に合った情報を英文から読み取ることができる。
- 文と文とのつながりに注意しながら、説得力のある英文を書くことができる。

4 学習活動の展開

	○主な学習活動 ・ 学習内容	□指導上の留意点 ●資料等 ◆評価[方法]
第一時 導入	<p>①博物館についてスモール・トーキングを行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>Do you know any museums in Tokyo? Have you ever visited any museums? What kinds of museums do you know?</p> </div>	●博物館の画像等
展開	<p>②活動の説明を聞く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>Now I have a letter from London. It's written by our guest teacher. He will visit us next month. In the letter, he says he wants to go to some museums in Tokyo. Today we're going to read the letter and some information about museums in Tokyo. And I'd like you to choose a museum to recommend him.</p> </div>	
	<p>③ワークシート①の手紙を読み、分かったことをワークシート②「1 (1)」に記入する。</p> <p>④ワークシート①の三つの博物館の紹介文を読み、それぞれの特徴をワークシート②「1 (2)」に記入する。</p>	<p>□生徒が読む前に教師が音読して、聴かせてもよい。</p> <p>□未習の単語については意味を想像して読み、その後で辞書を使い、調べるよう指導する。</p> <p>□記入については日本語で書いてもよいことを伝える。</p> <p>◆必要な情報を正確に読み取ることができる。 (外国語理解の能力) [ワークシート]</p> <p>□内容の確認方法は「訳文を配る」「生徒に答えさせる (日本語・英語)」などで行う。</p>
まとめ	<p>⑤ワークシート②「2 (1)と(2)」に自分が推薦する博物館を選び、その理由を英語で記入する。</p>	<p>□どの博物館を選択しても希望をかなえることができるので、唯一の正解はないことを伝え、自分の考えを書かせる。</p> <p>□根拠を明確にして、理由を書かせるようにする。</p>

第二時 導入	①前時の復習をする。 ・ワークシート①の手紙文を音読する。 ・手紙の内容を確認する。 ・選んだ博物館を発表する。	●ワークシート①・ワークシート② □必要に応じて第3文型と第4文型の違いについてふれる。
T: Which museum do you want to introduce to Mr. Brian? S1: I want to introduce him Museum A. S2: I want to introduce Museum B to him		
展開	<グループワーク> ②各自が推薦する博物館とその理由を発表し合う。 ③グループで話し合い、紹介する博物館を決める。	●ワークシート①・ワークシート② □話し合いで使える表現を紹介し、英語で話し合うように指示する。 □根拠が相手に明確に伝わるようグループで話し合わせる。 ◆積極的にグループワークに参加している。 (コミュニケーションへの関心・意欲・態度) [観察]
話し合いで予想される生徒の発言 ・ I think Museum A is better than Museum B for Mr. Brian because he is interested in science. ・ I want to introduce Museum B to Mr. Brian because it has the greatest works of Japanese art. ・ I have visited Museum C. The Audio-Visual library was interesting. ・ When Mr. Brian visits Museum A, he can enjoy the guided tour.		
まとめ	④紹介する博物館と選んだ理由をワークシート②「3(1)と(2)」に英語で記入する。 ⑤グループごとに発表する。	□紹介する理由の英文についてはグループで相談しながら書くように指示する。 ◆文と文のつながりに注意しながら、説得力のある英文を書くことができる。 (外国語表現の能力) [ワークシート]
	⑥各グループの発表を聞いて、よいところやアドバイスを伝え合う。	□各グループの発表の内容と英文について、よいところを教師が取り上げる。

Let's go to the museum! (資料編)

1 Mr. Brian の手紙を読んで次の問いに答えなさい。

< The letter from Mr. Brian. >

Hello everyone. My name is Tom Brian. I am in London now, and I will visit your school next month. I am so happy to see you soon. I have been to Japan twice, but I don't know about Japan well.

I would like to learn about Japanese culture. So will you introduce me to some museums in Tokyo? I have a little information about them, so please choose the museums to go.

By the way, what subject do you like the best? I am interested in science and history. I often read Roman history books. I think it is important for us to study history. I'm looking forward to going to your school. See you soon. Bye!

2 あなたは Mr. Brian にどの博物館を紹介しようと思いますか？ 選ぶ根拠となる文にアンダーラインを記入しなさい。

< The National Museum of Nature and Science > **Museum A**

The National Museum of Nature and Science researches the life on earth, and science and technology. The museum has an amazingly wide ranging collection of exhibits, and offers the visitors access to a huge amount of information from various fields of national collections. The work of the museum focuses on studying the history of living organisms in order to better understand issues related to biodiversity and environmental changes, and throws light on the developmental process of science and technology.

As one of the leading research centers in Asia, some of the finest workshops collaborate with various other organizations to implement research programs. We have an educational volunteer system, guided tours and guide to general exhibits.



< The Tokyo National Museum > **Museum B**

The Tokyo National Museum is located in Ueno. Visitors can enjoy some of the greatest works of Japanese art, such as vessels, *haniwa* figures, and mirrors from the Yayoi period; decorative art objects from the Heian period; Muromachi period buddhist art works; *Ukiyoe* and fashion items from the Edo period. The Tokyo National Museum offers the visitor a wonderful overview of Japanese cultural history, as well as some of the finest examples of Japanese art and craftwork to be found anywhere in the world.

< Edo-Tokyo Museum > **Museum C**

The Edo-Tokyo Museum is in Ryogoku-Area. At its highest point, it is 62.2m. This is about the same height as Edo Castle tower. So you can get an image of it. The Edo Tokyo Museum was built on March 28, 1993. Many visitors come here to learn more about Tokyo's history and culture.

It also has a lot of original and replicated exhibits as well as scale models, faithful representations of their originals. Besides these, special exhibitions and lectures are regularly held, and there is also the Audio-Visual library. Those materials show the image of old town in Tokyo.



Let's go to the museum! (活動編)

1 Reading Check

(1) Mr. Brian について分かったことをまとめよう。

今住んでいる所 → _____

来日回数 → _____

その他 → _____

(2) Museum A, B, C のそれぞれの特徴をまとめよう。

Museum A	
Museum B	
Museum C	

2 Task①

(1) The museum I will introduce to Mr. Brian is _____

(2) The reasons I recommend Museum ()

3 Task②

Mr. Brian に紹介する博物館をグループで1つ決めましょう、

(1) The museum we will introduce to Mr. Brian is _____

(2) The reasons we recommend Museum ()

4 学習活動の展開

	○主な学習活動 ・ 学習内容	□指導上の留意点 ●資料等 ◆評価[方法]
第一時 導入	①日本の料理の調理方法を、英語ではどのように表現するのか学習することを確認する。 ・日本の料理について好きなものを挙げる。	□周りの生徒と相談させるなどして、多くの日本の料理を挙げさせる。 ●日本料理の写真
	<p>T: What Japanese food do you like? S: I like <i>sushi</i> / <i>tempura</i> / <i>udon</i>. T: Can you give me some examples of Japanese food you can introduce to foreigners? S: <i>Sushi, tempura, yakiniku, shabushabu</i>.</p>	
	②英語のレシピの書き方について学習する。 ・パンケーキのレシピを読む。	□パートナーと協力して、レシピの内容を理解させる。 ●ワークシート① ◆分からない単語について、推測をしたり辞書を使ったりして読もうとしている。 (コミュニケーションへの関心・意欲・態度) [観察]
	<p>T: Today, we will learn how to write a recipe in English. This is a recipe. (Show a recipe) Recipe is “<i>Ryorihou</i>” in Japanese. I’ll show you how to make pancakes as an example to write a recipe. I’ll give you the recipe of pancakes. First, please read it and catch the meaning with your partner.</p>	
	・新出単語の発音の練習をし、意味の確認をする。	□パンケーキの作り方から英語のレシピでよく使う単語を確認させる。
<p>T: Let’s read the words aloud. Repeat after me. T: Now, let’s check the words’ meanings.</p>		
・パンケーキの作り方のレシピの内容を理解する。 ・パンケーキのレシピの英文を音読する。	□レシピの英文を、繰り返し音読させ、理解させる。	

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">展開 (基礎コース)</p>	<p style="text-align: center;">基礎コース</p> <p>③パンケーキのレシピの英文を確認する。 ・同じ活動をパートナーと繰り返し練習する。</p>	<p><input type="checkbox"/>生徒に一文ずつ日本語で問い、その文を英語で表現させる。 ●ワークシート①</p>
	<p>T: I say in Japanese, you say in English. T: Let's practice with your partner. Please practice and practice.</p>	
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">展開 (発展コース)</p>	<p>④お好み焼のレシピを英語で作成する。 ・分からない単語を辞書で調べる。 ・レシピの空欄に単語を書く。 ・レシピを日本語に訳す。 ・パートナーと音読をする。</p>	<p><input type="checkbox"/>パートナーと協力して活動させてもよい。 ●ワークシート②基礎 ◆分からない単語について、推測をしたり辞書を使ったりして読もうとしている。(コミュニケーションへの関心・意欲・態度) [観察]</p>
	<p>T: I'll give you a worksheet. T: Check the words you don't know. You can use dictionaries. T: Please fill in the blanks. You can use dictionaries. T: Share your answers with your partners. T: These are the sentences about <i>Okonomiyaki</i>. Let's translate into Japanese. T: Let's check the answers together. T: Let's read together. Repeat after me. T: Read with your partners, and practice reading many times.</p>	

	<p>④お好み焼きのレシピを、英語で作成する。 ・お好み焼きのレシピの絵を参考にしながらそれぞれの文を考える。</p>	<p>□答えは1つではないので、間違うことを気にせずに自分なりのレシピを書くように指示する。 ◆辞書で調べるなどして、積極的にレシピを作成しようとしている。 (コミュニケーションへの関心・意欲・態度) [ワークシート]</p>
<p>T: Let's check important words. If you don't know the words, you can check with your dictionary. T: Make your own recipe, using the pictures. T: When you finish it, raise your hand and I will check it.</p>		
<p>⑤レシピが書けたら提出し、チェックを受ける。</p>		<p>◆教師のチェックを受けた後に、正しい英語でレシピを書くことができる。 (外国語表現の能力) [ワークシート]</p>
<p>生徒の作品例</p> <p>Put the 2 cups of flour into a large bowl. Add 1 cup of <i>dashi</i>. Chop a half pound of cabbage. Mix 3 eggs, <i>agedama</i>, dried shrimps and the cabbage into the bowl. Heat the pan with the oil. Pour the butter into the pan. Cook for about 5-7 minutes. Turn it over and cook for 5-7 minutes. Put the <i>okonomiyaki</i> sause and mayonnaise on the top. Top with <i>nori</i> and Bonito flakes.</p>		
<p>まとめ</p>	<p>⑥レシピのキーワードを再度、確認する。</p> <p>T: Check the words again.</p>	<p>●ワークシート①</p> <p>□キーワードの復習を行わせる。 □事前に食材の単語を準備しておく。 □「次の時間に紹介したいレシピの日本語のメモをノートに書く」という宿題を出す。</p>

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">第二時 導入</p>	<p>①レシピのキーワードについて、復習する。</p>	<p>□前回、レシピを作るときに使用した単語や表現を復習する。 ●ワークシート①</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>T: Let's check the words for a recipe. Repeat after me.</p> <p>T: Let's read sentence by sentence.</p> </div>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">展開</p>	<p>②各自で用意したレシピの発表の準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語のつづりが分からない単語を、ノートに書く。 <p>③4人～5人のグループをつくり、順番にレシピを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表を聞く生徒は、最後まで聞き、料理名を当てる。 ・全員の発表が終わったら、グループの代表者を決める。 <p>④各グループの代表がレシピを発表し、他のグループはそのレシピで作られる料理名を当てる。</p>	<p>□材料などの難しい単語については、辞書を使って調べさせる。</p> <p>◆料理のレシピを正確に作成することができる。(外国語表現の能力) [ワークシート]</p> <p>□レシピの全文を暗記するのではなく、メモを見ながら発表するように指導する。</p> <p>□各グループの発表内容について、相互評価をできるようにする。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">まとめ</p>	<p>⑤発表されたレシピから、教師が一つ選び、一文ずつ読み、生徒は工夫のある表現について確認する。</p>	<p>●ワークシート①</p> <p>□各グループの工夫のある表現について教師が紹介する。</p> <p>□まとめの活動として、イラストなどを加え、オリジナルレシピを作成することも考えられる。この場合、文化祭などで展示することで、生徒たちの英文を書くことに対する意欲の向上を図ることもできる。</p>

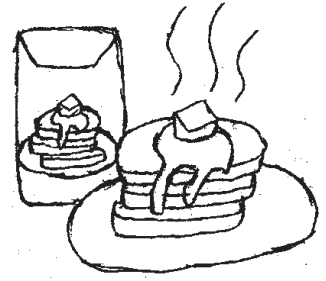
Let's learn how to make pancakes.

ワークシート①

Class() No() Name()

How to make pancakes

1. Crack the eggs into a large bowl.
2. Whisk the eggs.
3. Add "the pancake mix" to the eggs and whisk.
4. Heat the pan with the oil.
5. Add the pancakes mix and eggs to the pan.
6. Make a round shape.
7. Cook for about 5~7 minutes.
8. Turn it over and cook for 5~7 minutes.



Check the words

crack () whisk () heat ()
add () round shape ()
turn ~ over ()

Other Words For A Recipe

bake () boil () chill ()
combine () fry () deep fry ()
grill () peel (pare) () roast ()
slice () steam () stew ()

Let's make *okonomiyaki*!

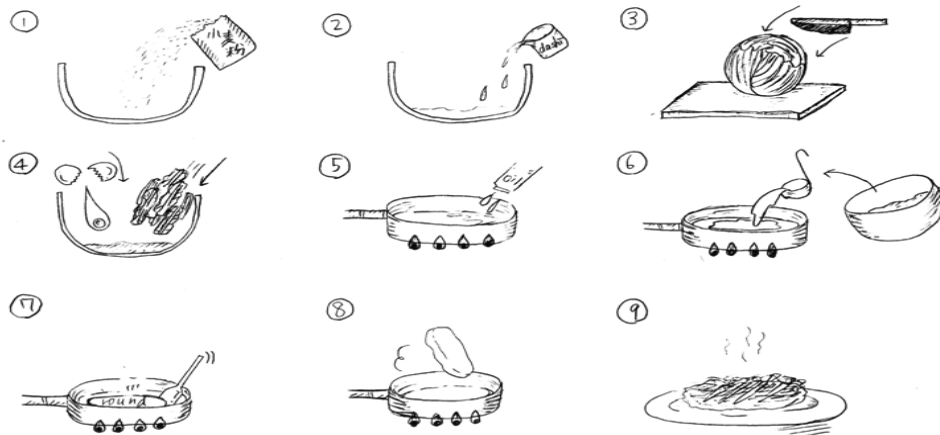
ワークシート② 基礎

Class () No. () Name ()

Ingredients for 4 people

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none">▪ 2 cups of <u>flour</u>▪ 1 cup of <i>dashi</i>▪ A half pound of <u>cabbage</u>▪ 3 eggs▪ oil | <ul style="list-style-type: none">▪ <i>okonomiyaki</i> sause▪ mayonnaise▪ bonito flakes (削り節)▪ <i>nori</i> |
|--|---|

How to make *okonomiyaki*



1. () flour in a large bowl.
2. () the flour and the *dashi* in the bowl.
3. Finely () the cabbage.
4. () everything together well.
5. () your pan, and coat it with oil.
6. () the butter in the pan and make it round shape.
7. Cook for about 5~7 minutes.
8. () it () and cook for 5~7 minutes.
9. () *okonomiyaki* sause and mayonnaise on the top.
10. Top with *nori* and bonito flakes.

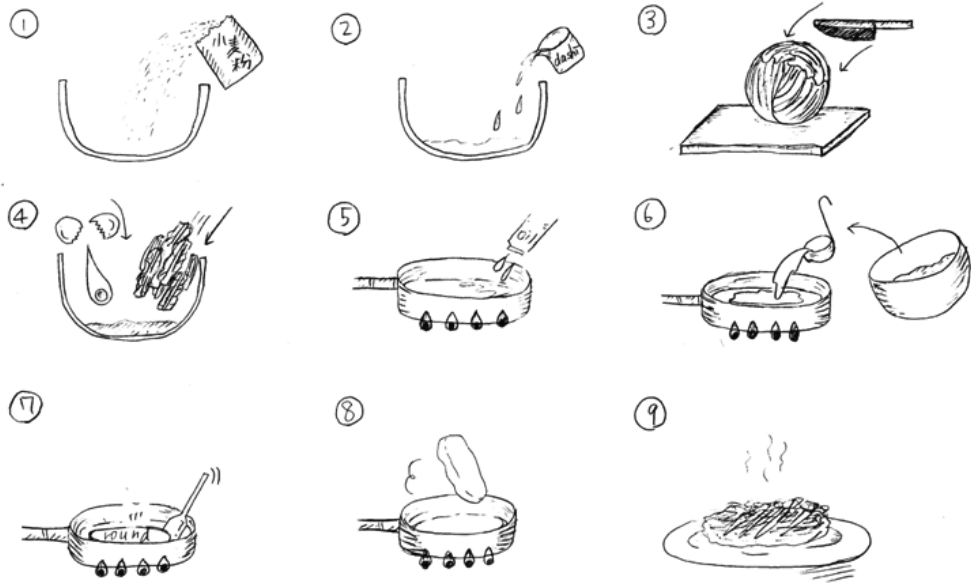
Let's make *okonomiyaki*!

Class () No. () Name ()

Ingredients for 4 people

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ▪ 2 cups of <u>flour</u> ▪ 1 cup of dashi ▪ A half pound of <u>cabbage</u> ▪ 3 eggs ▪ oil | <ul style="list-style-type: none"> ▪ <i>okonomiyaki</i> sause ▪ mayonnaise ▪ bonito flakes (削り節) ▪ <i>nori</i> |
|---|--|

絵の通りにレシピを作ろう。



1. _____
2. _____
3. _____
4. _____
5. _____
6. _____
7. _____
8. _____
9. _____

御伽双子 ~2つの昔話を作ろう~

Class _____ No _____

Name _____

①~⑩の文章を並べ替えて、2つの昔話を完成させましょう。

① She took it to her house and cut it with his husband. Then a baby came out of it. The baby grew and grew quickly and a strong man.



ogre

⑥ Long, long ago, when a man took a walk along the beach, he found some children were tormenting a turtle. He saved it from the children.

② The princess gave him a box as a souvenir. The turtle took him back to the beach. But he could not find his house, his mother and the village.

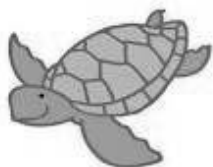
⑦ He decided to defeat ogres in the island. His grandmother gave him many millet dumplings. On the way there he met a dog, a monkey and a pheasant. He gave them his dumplings and they became his followers.



pheasant

③ They got a lot of treasures and went back to the village.

⑧ Long, long ago, when an old woman was washing clothes by a river, she saw a big peach coming down the river.



turtle

④ After a few days the turtle came to him. It said, "I'm the turtle saved by you. My princess told me to take you to her palace." It took him on the back to the palace under the sea.

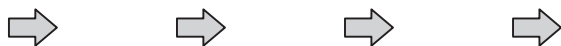
⑨ He was in trouble and opened the box. Then a white smoke came out of it. He suddenly became an old man.

⑤ It was a very beautiful palace. He enjoyed seeing many dancing fish and having delicious dinner with the princess. After several years he remembered his village and his old mother. He decided to go back to the village.



palace

⑩ He went to the island on the sea with them. They fought with the ogres and defeated. The ogres said, "We will never do bad things to the villagers. We'll give you our treasures."



昔話名：



昔話名：

英語で折り紙をしよう

Class _____ No _____

Name _____

次の折り方を参考にして、以下の問いに答えてみましょう！！

Fold it in half.	Fold in half to make crease.	Fold in the dotted line.	Fold in the dotted line.	Fold in the dotted line.	Draw a face on.

① 次の指示に従ってつくと、何ができますか？下の完成図から選びなさい。

A			
	Fold in half.	Fold in the dotted line.	Fold in the dotted line.

答え

B				
	Fold in half twice to make crease.	Fold in the dotted line.	Turn over.	Fold in the dotted line.

答え

C					
	Fold in half to make crease and fold back.	Fold to meet the center line.	Hold in the dotted line.	Fold in half.	Hood fold the crease.

答え



② 上の折り方を参考にしながら、イラストと折り方を自分で書いてみよう！！

① Kenji is a good basketball player.

He made ten shots and scored 24 points in the game last Sunday.

He had no chance to do a free throw.

How many three point shots did Kenji make last Sunday?

Answer : _____



② Mike, John and Tom are good friends. They like dogs and have some dogs.

Mike has five dogs. Three dogs are black and the others are white.

John has three dogs which has white hair.

Tom had three white dogs whose hair is white.

Two of them were given to his cousins last month.

How many white dogs do they have now?

Answer : _____



③ Yoko is going to her grandfather's house.

It is in Higashi-machi.

She often goes there by car. It takes twenty minutes from her house.

But today her brother uses the car and she can't use it.

She can also go to her grandfather's house by bus or by train.

It takes five minutes to the bus stop on foot and takes forty minutes to the bus stop in Higashi-machi by bus.

It takes ten minutes to the station on foot and takes fifteen minutes by train.

The station is next to the bus stop.

Which way is the fastest for Yoko to get to her grandfather's house today?

Answer : _____

Who am I? ~この有名人は誰だ~

Class _____ No _____

Name _____

- 1 3人の人物についてのヒントを読み、ABCの人物が誰を示しているか下記の選択肢から記号で答えなさい。ポイントを計算しペアで対戦しよう。



第1ヒント このヒントのみで答えられたら3ポイント!

A This is the man who taught at the University of Tokyo.

B I am a woman who was born in the USA and I had a very good teacher.

C This person made the market system in Japan.

第2ヒント このヒントで答えられたら2ポイント!

A He was a Japanese writer who lived in Meiji period.

B The word of "water" taught me an important thing.

C He lived in Gifu area and became a king of his land when he was 17years old.

第3ヒント このヒントで答えられたら1ポイント!

A Do you know his novels? He wrote "Kokoro" "Wagahai-wa-Neko-dearu" "Bottchan".

B I couldn't see anything but I studied so hard that I could go to a university. My first name is Helen.

C This is a man who was killed by Akechi Mitsuhide.

あなたの得点

Point(s)

- 2 日本の伝統的な玩具について、あなたもクイズを作ってみましょう。

kendama / ohajiki / otedama / menko / gomutobi

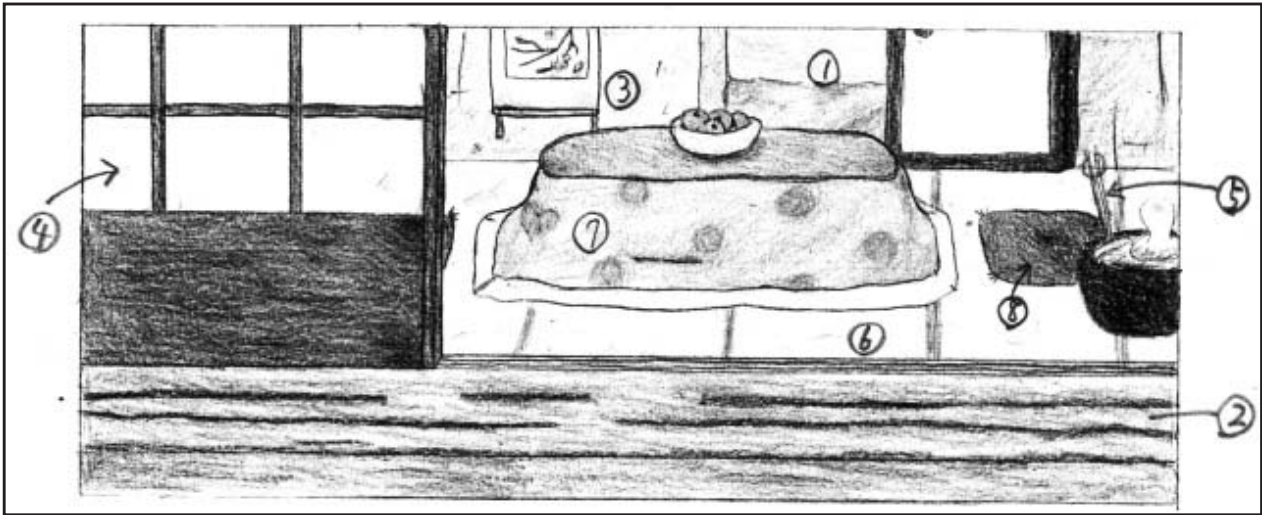
例) Kendama

It is something that has a ball.

英語で日本家屋を紹介しよう

Class _____ No _____

Name _____



上の日本の家屋の①～⑧の部分の説明する文を、次の(1)～(8)から選び()に①～⑧の番号を記入しなさい。

- (1) It's made of straw. You sit on it. It's green when it is new. ()
- (2) This is made of paper and wood. It's a door that slides open from side to side rather than swinging from one side on hinges. ()
- (3) It's something that you use to keep warm in winter. It's a table that is covered with a quilt. You put your legs inside it. ()
- (4) It's something that you use to sleep on. You fold it and put it in the closet in the daytime. ()
- (5) It's something you use when you sit on a tatami floor. ()
- (6) It's a part of the room and a special area. You will find a hanging scroll and a small vase of flowers there. The hanging scrolls are Japanese paintings or calligraphies. ()
- (7) It's a wooden-floored porch built along the outside of a tatami room. It's separated from the rooms by sliding paper doors. It connects the house to the garden and provides a place to chat with family or neighbors. ()
- (8) They're iron chopsticks for handling charcoal in hibachi heaters. ()

ワークシートの解答（例）

御伽双子 ～2つの昔話を作ろう～

⑧ → ① → ⑦ → ⑩ → ③ 昔話名：桃太郎

⑥ → ④ → ⑤ → ② → ⑨ 昔話名：浦島太郎

英語で折り紙をしよう

A：イ（船） B：ウ（ロケット） C：ア（くじら）

英語で数学 ～英語を読んで計算をしよう～

① 4本（2ポイントシュート：6本、3ポイントシュート：4本）

② 6匹（マイク：2匹、ジョン：3匹、トム：1匹）

③ 電車を使う

Who am I? ～この有名人は誰だ～

A：夏目漱石 B：ヘレン・ケラー C：織田信長

日本家屋を紹介しよう

1 (1) ⑥（畳） (2) ④（障子） (3) ⑦（こたつ） (4) ①（布団）

(5) ⑧（座布団） (6) ③（床の間） (7) ②（縁側） (8) ⑤（火箸）

発展的な学習を推進するための教材・指導法の開発委員会(中学校)委員名簿

氏名	所属及び職名	備考
児島 邦宏	東京学芸大学名誉教授	
秋山 純子	杉並区立西宮中学校長	中学校国語科部会
大林 博	渋谷区立本町中学校主幹教諭	中学校国語科部会
小石沢 さやか	北区立赤羽岩淵中学校教諭	中学校国語科部会
大野 文	北区立浮間中学校教諭	中学校国語科部会
岩谷 俊行	杉並区立向陽中学校長	中学校社会科部会
三枝 利多	目黒区立目黒中央中学校主任教諭	中学校社会科部会
誦田 剛也	江戸川区立小松川第二中学校教諭	中学校社会科部会
島田 一郎	町田市立町田第三中学校主幹教諭	中学校社会科部会
市川 敦子	武蔵村山市立第一中学校主任教諭	中学校社会科部会
小林 博	調布市立第三中学校長	中学校数学科部会
三森 彩未	目黒区立第三中学校教諭	中学校数学科部会
徳田 哲男	足立区立西新井中学校主幹教諭	中学校数学科部会
小高 洋平	足立区立栗島中学校教諭	中学校数学科部会
亀山 大輔	調布市立第三中学校教諭	中学校数学科部会
高畠 勇二	練馬区立開進第一中学校長	中学校理科部会
佐藤 豊	北区立桐ヶ丘中学校主幹教諭	中学校理科部会
荒井 英樹	立川市立立川第二中学校主幹教諭	中学校理科部会
上村 雅彦	町田市立金井中学校教諭	中学校理科部会
白川 恒	あきる野市立秋多中学校教諭	中学校理科部会
松岡 敬明	渋谷区立鉢山中学校長	中学校外国語科部会
原田 博子	江東区立深川第一中学校主任教諭	中学校外国語科部会
江濱 悦子	大田区立貝塚中学校教諭	中学校外国語科部会
宮本 猛司	世田谷区立深沢中学校主任教諭	中学校外国語科部会
太田 恵理子	江戸川区立西葛西中学校主任教諭	中学校外国語科部会

なお、本委員会については、教育庁において次の者が担当した。

氏名	所属及び職名
伊東 哲	指導部義務教育特別支援教育指導課長
宇田 剛	指導部主任指導主事(学力調査担当)
小瀬 和彦	指導部義務教育特別支援教育指導課統括指導主事
毛利 元一	指導部義務教育特別支援教育指導課指導主事
山村 智治	指導部義務教育特別支援教育指導課指導主事
藤田 修史	指導部義務教育特別支援教育指導課指導主事
斎藤 圭祐	指導部義務教育特別支援教育指導課指導主事
福泉 宏介	指導部義務教育特別支援教育指導課指導主事
阿部 大介	指導部義務教育特別支援教育指導課指導主事

発展的な学習を推進するための指導資料
(中学校編)
外国語(英語)

東京都教育委員会印刷物登録
平成23年度 第195号

平成24年3月

編集・発行 東京都教育庁指導部義務教育特別支援教育指導課
所在地 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号
電話番号 (03) 5320-6841
印刷会社名 広望企画株式会社

